

第 40 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017. 10. 26 熊山 ともみ

抗ヘルペスウイルス剤 『アメナリーフ錠 200m g』

マルホ(株) 後藤さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢丞先生、内科職員さん、細川亜希子、薦田麻莉子、熊山ともみ

带状疱疹は、身体の中に潜（ひそ）んでいたヘルペスウイルスの一種、水痘・带状疱疹ウイルス（VZV）によって起こる。

近年、核家族化によるウイルス接触の減少、高齢化社会ため母数増加が原因で 60 歳以上の高齢者で带状疱疹が増加が問題になっている。今まで、抗ヘルペスウイルス薬は、ほぼ同じ作用機序のアシクロビル・バラシクロビル・ファムシクロビルの 3 剤のみであったが、今年新たな作用機序をもつ 4 剤目アメナメビル「アメナリーフ錠」が発売された。

<効能・効果>

带状疱疹

<用法・用量>

通常、成人にはアメナメビルとして 1 回 400m g を 1 日 1 回食後に経口投与する。

<副作用>

317 例中 46 例 (14. 5%) に見られ、 β -N アセチル D グルコサミニダーゼ増加 9 例 (2. 8%)、 α 1 ミクログロブリン増加 6 例 (1. 9%)、フィブリン分解産物増加 5 例 (1. 6%)、心電図 Q T 延長 4 例 (1. 3%)

<禁忌>

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. リファンピシンを投与中の患者

<特徴>

- ・日本のみの発売
- ・新作用機序：水痘・帯状疱疹ウイルス複製の初期段階である二本鎖DNAの開裂及びRNAプライマーの合成に必要なヘリカーゼ・プライマー複合体の活性を直接阻害することで、ウイルスの増殖を抑制する。

※既存薬と比べ、早い段階で増殖を抑制することで早期改善が期待できる。

- ・1日1回投与
- ・糞中排泄のため、高齢者などの腎機能低下している患者さんにも使用しやすい。
- ・副作用として、臨床検査値の変動のみで自覚症状に関わる大きな副作用は確認されていない。

<考察>

既存ヘルペス治療薬は1日4～5回服用のものであり、1日1回服用のアメナリーフは、発症後早期に服用すべき薬剤として、コンプライアンスの向上が期待できる。薬剤が脂溶のため、空腹時では吸収が落ちることから、食後服用を注意していきたい。

また、帯状疱疹後の神経疼痛を残さないためにも、早期の服用が大切となることから、受診が遅れた場合、次の食事後を待たず、処方後すぐ（何か胃に入れた後）服用し、7日間の継続を指導する必要がある。